

令和2年度事業計画書

令和2年度を迎え、当会はより一層の会員サービスの充実に努めると共に、マグネシウム産業成長のために以下の事業活動の推進に努める。

事業計画1. 日本マグネシウム協会会員拡充及び会員サービスの充実に関する活動

実施内容①：会員向け情報配信の充実

- ・デジタル化（オンラインによる会議・セミナー等）への対応。
- ・ホームページ、機関誌、メールマガジン「マグネシウム通信」の内容充実。
- ・IMA News等の海外情報提供の充実。

実施内容②：協会設立30周年記念事業への対応

- ・記念会員懇親会、記念講演会、パンフレット・安全DVDの新刷等、協会設立30周年事業の事業内容の検討、準備の実施。

実施内容③：会員相互交流の活発化

- ・新年会員懇談会、会員情報交流会等の実施。

実施内容④：会員の増加対策

- ・HP、報道、展示会等を活用した協会のPR活動の促進。
- ・支部（関西、九州）における技術研究、技術交流活動の実施。

事業計画2. マグネシウム市場開拓・技術開発に関する活動

実施内容①：輸送機器分野、新規分野等へのマグネシウム合金適用へ向けた技術開発

- ・自動車部品へのマグネシウム適用拡大のための検討。[自動車Mg展伸材適用検討委員会]
- ・鉄道車両の大型部材マグネ化実現のための検討。[マグネシウム合金高速車両構体実用化技術委員会]
- ・マグネシウム電池普及のための検討。[マグネシウム電池普及委員会]
- ・医療分野等へのマグネ実用化のための調査。

実施内容②：マグネシウム産業界の指針となる産業ビジョン、技術ロードマップの維持及び更新

- ・マグネシウム産業界のビジョン等について検討。[将来ビジョン検討会]

実施内容③：材料・鋳造・成形・切削・接合・表面処理に関する調査研究および基礎データの収集・整備

- ・暴露試験結果の取りまとめと結果の公表。[表面処理分科会]
- ・接合、溶接に関する課題抽出、基礎データの整備、溶接実技講習会の実施。[接合技術分科会、マグネシウム溶接技術普及委員会]
- ・各技術分科会等で研究課題の抽出及び調査の実施。

実施内容④：製錬技術の研究及びリサイクルシステムの構築、LCAデータの普及

- ・マグネシウムの供給安定化に向けた対応策の検討と提言。[地金原料部会]
- ・製錬技術の研究。[マグネシウム製錬研究会]

事業計画3. 環境問題・安全対策などに対する対応

実施内容①：安全作業の啓蒙

- ・安全作業のマニュアル整備、事故例調査、講習会等による安全指導の実施。[安全管理委員会]
- ・労働安全企業の表彰、認定制度の実施。
- ・新たなマグネシウム用消火器の検討。[消火器開発委員会]

実施内容②：SF₆ガス削減対策と代替カバーガス普及の促進

- ・防燃ガス使用量調査による実態把握。
- ・SF₆ガス代替対策強化検討の実施。

実施内容③：難燃性マグネシウム材料の汎用化

- ・燃焼性のデータ整備の検討。[燃焼WG]

事業計画4. 規格・標準化の整備に関する活動

実施内容①：国内審議団体として ISO 規格へ対応

- ・マグネシウムに関する ISO 国内審議委員会を運営。
- ・日本提案規格（希土類元素（Y、Gd、Ce）分析方法等）の ISO 化への対応。
- ・その他の各種提案への対応（展伸材、分析規格など）。
- ・ISO/TC79 及び ISO/TC79/SC5 国際会議への出席。（10月・ロンドン予定）

実施内容②：JIS 及び ISO 規格制定・改正への対応

- ・新規 JIS「マグネシウム合金の溶加棒及び溶接ワイヤ」の作成・発刊。[溶接材 JIS 規格原案作成委員会]
- ・改正 JIS、H 2222「ダイカスト用マグネシウム合金地金」、H 5303「マグネシウム合金ダイカスト」の発刊。
- ・鋳物の JIS、H2221「鋳物用マグネシウム合金地金」、H5203「マグネシウム合金鋳物」改正の検討。
- ・マグネシウム合金中の希土類元素分析方法の ISO 規格原案作成の検討。[分析委員会]
- ・ステンレス協会と連携し、腐食関連の ISO を扱う ISO/TC156/WG2・WG6 への対応。

実施内容③：標準試験版の普及

- ・従来のダイカスト試験板に加え圧延板材等の普及を検討。
- ・日本分析化学会と連携し、認証標準物質の作成。

実施内容④：燃焼試験依頼試験の実施

- ・JIS H 0544「マグネシウム合金の燃焼試験方法」に基づく、燃焼試験の依頼試験の実施。

事業計画5. マグネシウムの普及に関する活動

実施内容①：国内外の各種情報の把握と発信

- ・各種統計調査結果、製品開発情報、新研究情報等の収集及び整備。

実施内容②：各種講演会・講習会の開催と内容の充実

- ・基礎から実用例までの技術講演会、安全作業に関する講習会等の実施。

実施内容③：各種展示会への出展

- ・高機能金属展への出展（10月インテックス大阪、12月幕張メッセ）。

実施内容④：各地域で実施されているマグネシウムに関する研究調査に協力

- ・熊本マグネ事業推進会、茨城マグネシウム工業会、先端マグネシウム合金研究会、高性能 Mg 合金創成加工研究会、東北マグネシウム研究会、(一社)軽金属学会、他

実施内容⑤：非鉄金属関連団体で運営する人材育成ホームページ「メタルワンダーアベニュー」の維持

事業計画6. 海外との交流に関する活動

実施内容①：国際マグネシウム協会(IMA)、中国マグネシウム協会(CMA)との交流・共同事業の推進

- ・IMA、CMA からの海外情報入手及び発信。
- ・CMA との日中交流会の実施。

実施内容②：国際会議への参加

- ・IMA 国際会議等の国際会議に参加し、海外との交流を図る。
- ・ASMA8（12月・名古屋開催）の主催

実施内容③：海外実態調査の実施

- ・欧米、東アジアにおける実態調査の実施（委託事業などにより調査員の派遣にて実施）。

実施計画7. 表彰奨励

実施内容①：安全作業表彰の実施

実施内容②：日本マグネシウム協会賞の表彰

実施内容③：奨励事業の推進（学生マグネシウムデザインコンテスト、齋藤マグネシウム学生奨学金）

以上

令和元年度収支決算書・令和2年度収支予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:円)

科目	予算	決算	増減	令和2年度 予算額	予算対比増減	実績対比増減
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収支						
会費収入	21,600,000	21,273,000	327,000	21,600,000	0	327,000
入会金(正会員)	200,000	166,000	34,000	200,000	0	34,000
個人会費	400,000	355,000	45,000	400,000	0	45,000
会費	21,000,000	20,752,000	248,000	21,000,000	0	248,000
事業収入	10,500,000	7,527,122	2,972,878	9,550,000	△ 950,000	2,022,878
出版収入	500,000	531,122	△ 31,122	550,000	50,000	18,878
広告収入	2,000,000	2,233,000	△ 233,000	2,200,000	200,000	△ 33,000
講演会収入	8,000,000	4,763,000	3,237,000	6,800,000	△ 1,200,000	2,037,000
雑収入	1,500,500	1,322,357	178,143	1,500,500	0	178,143
雑収入	1,500,000	1,322,003	177,997	1,500,000	0	177,997
受取利息	500	354	146	500	0	146
事業活動収入計	33,600,500	30,122,479	3,478,021	32,650,500	△ 950,000	2,528,021
2. 事業活動支出						
事業費支出	21,736,000	18,692,942	3,043,058	20,480,000	△ 1,256,000	1,787,058
給料手当	12,036,000	10,392,213	1,643,787	11,500,000	△ 536,000	1,107,787
福利厚生費	2,100,000	1,628,790	471,210	1,800,000	△ 300,000	171,210
研究調査費	500,000	392,928	107,072	400,000	△ 100,000	7,072
普及宣伝費	50,000	9,775	40,225	50,000	0	40,225
デザインコンテスト費	300,000	54,296	245,704	300,000	0	245,704
マグネ協会賞	500,000	548,590	△ 48,590	500,000	0	△ 48,590
印刷製本費	1,000,000	1,168,837	△ 168,837	1,000,000	0	△ 168,837
旅費交通費	1,100,000	1,119,514	△ 19,514	900,000	△ 200,000	△ 219,514
溶接実技講習費	600,000	88,000	512,000	400,000	△ 200,000	312,000
会議費	50,000	5,040	44,960	50,000	0	44,960
諸会費	1,500,000	1,622,916	△ 122,916	1,500,000	0	△ 122,916
通信運搬費	400,000	549,398	△ 149,398	400,000	0	△ 149,398
国際交流費	200,000	0	200,000	400,000	200,000	400,000
賃借費	300,000	408,360	△ 108,360	400,000	100,000	△ 8,360
消耗品費	0	31,040	△ 31,040	20,000	20,000	△ 11,040
謝礼金	1,000,000	673,143	326,857	800,000	△ 200,000	126,857
雑費	0	102	△ 102	10,000	10,000	9,898
支部費	100,000	0	100,000	50,000	△ 50,000	50,000
管理費支出	11,250,000	10,250,023	999,977	11,475,000	225,000	1,224,977
給料手当	1,960,000	2,080,102	△ 120,102	2,100,000	140,000	19,898
福利厚生費	400,000	448,531	△ 48,531	500,000	100,000	51,469
印刷製本費	50,000	111,820	△ 61,820	50,000	0	△ 61,820
旅費交通費	700,000	441,190	258,810	500,000	△ 200,000	58,810
会費	50,000	21,107	28,893	80,000	30,000	58,893
定時総会費	100,000	88,000	12,000	80,000	△ 20,000	△ 8,000
通信運搬費	300,000	201,441	98,559	300,000	0	98,559
借室費	3,100,000	2,946,950	153,050	3,000,000	△ 100,000	53,050
消耗品費	0	11,977	△ 11,977	5,000	5,000	△ 6,977
事務用品費	50,000	1,350	48,650	10,000	△ 40,000	8,650
租税公課	800,000	183,500	616,500	400,000	△ 400,000	216,500
什器備品費	100,000	0	100,000	300,000	200,000	300,000
事務委託費	3,540,000	3,642,120	△ 102,120	4,000,000	460,000	357,880
減価償却費	50,000	45,655	4,345	100,000	50,000	54,345
雑費	50,000	26,280	23,720	50,000	0	23,720
事業活動支出計	32,986,000	28,942,965	4,043,035	31,955,000	△ 1,031,000	3,012,035
事業活動収支差額	614,500	1,179,514	△ 565,014	695,500	81,000	△ 484,014
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出						
特定資産取得支出				0	0	0
退職手当繰入	600,000	600,000	0	600,000	600,000	0
投資活動支出計	600,000	600,000	0	600,000	600,000	0
投資活動収支差額	△ 600,000	△ 600,000	0	△ 600,000	△ 600,000	0
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
財務活動収入	0	0	0	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出						
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出						
当期収支差額	14,500	579,514	△ 565,014	95,500	81,000	△ 484,014
前期繰越収支差額	2,730,476	2,730,476	0	3,309,990	579,514	579,514
次期繰越収支差額	2,744,976	3,309,990	△ 565,014	3,405,490	660,514	95,500